ふじみ野市

文化財だより

第10号

発行日　令和５年10月５日
発行者　ふじみ野市教育委員会
社会教育課文化財保護係
TEL 049-220-2088
FAX 049-261-5100
bunkazai@city.fujimino.saitama.jp

山開きの時の浅間神社（浅間様）

市指定文化財の紹介

三角（さんかく）の浅間様（せんげんさま）と富士講（ふじこう）

日本一の山「富士山」は、古くから神や仏がいる山として、信仰されていました。

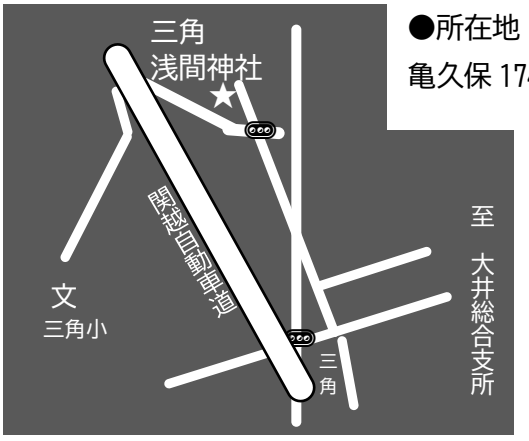
江戸時代には登山道や宿泊施設もでき、富士信仰のグループである「富士講」が各地でつくられるようになると、富士山の神をまつる浅間神社へのお参りや富士登山が盛んになりました。

市の北西、亀久保字三角にある浅間神社（浅間様）は、富士山をまねた高さ３ｍほどの塚（富士塚）になっています。今でも亀久保地区では富士講が続いており、地域の信仰を伝える文化財として、平成15年11月15日に、富士塚を市指定有形民俗文化財に、富士講を市指定無形民俗文化財に指定しました。

三角の浅間神社がつくられた時期や富士講の開始時期については、詳しくはわかりませんが、塚の石造物や文書資料から明治20年代まではさかのぼることができます。

同じく富士山の神をまつった狭山（さやま）市の「堀兼（ほりかね）神社」には、富士講の一つ「丸藤（まるとう）講」が文政（ぶんせい）４（1821）年９月に奉納した石製の常夜燈（じょうやとう）があります。この台座に「三角　駒井藤蔵」の名前が刻まれており、江戸時代後半には、すでに富士講に関係していたことがわかります。

富士山と同じように、三角の浅間様でも毎年８月１日に山開き、９月１日に山閉まいの行事が行われています。感染症拡大防止もあって、今年は３年ぶりの開催となりました。



事業報告 「新河岸川周辺の文化財と地形散策」

令和5年4月22日（3月25日が雨天のため延期）に「新河岸川周辺の文化財と地形散策」を開催しました。上福岡歴史民俗資料館の常設展示を見学して事前学習を行った後、本市文化財保護審議会委員の久津間文隆先生の案内で、権現山古墳群、新河岸川、中福岡や下福岡地区とよばれる地域の一部を歩き、台地と低地の地形の違いがよくわかりました。

また、下福岡地区からも権現山古墳群を望むことができ、台地の高さを利用して古墳をつくったことがよくわかります。

かつて新河岸川は、荷物を運ぶ船が航行しやすいように、「九十九曲がり」とよばれるほど蛇行を多くし、ゆったりと流れる川でした。大正10（1921）年から昭和5（1930）年に、水害対策のために蛇行をなくすような河川改修工事が行われていますが、今でも市境や畑などに旧河道（改修以前の流路）の名残を見ることができます。

今回のコースでいちばん高い位置にある権現山古墳群。

旧河道の土を掘ると、粘土のようでした。

●今回の行程●

距離は約5㎞、約3時間のコースです。

新河岸川周辺の文化財については、「文化財だより第9号」で紹介しています。

上福岡歴史民俗資料館 ― 権現山古墳群 ― 三福学校跡 ― 大杉神社 ― 早船発祥の地 ― 新河岸川旧河道 ― 上福岡歴史民俗資料館

緑地公園で見られる崖。権現山古墳群のある台地と新河岸川の土手まではかなりの高低差です。

福岡橋の近くにある大杉神社は、舟運関係者の信仰を集めた神社です。

西ノ原遺跡出土品にみる縄文芸術

西ノ原遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約 300m のところにあります。これまでの調査で、今から約 4500 年前の縄文時代中期の大きなムラがあったことがわかりました。

令和3年度に調査を実施した第 181 地点からは、15 軒の住居跡とたくさんの縄文土器が出土しました。

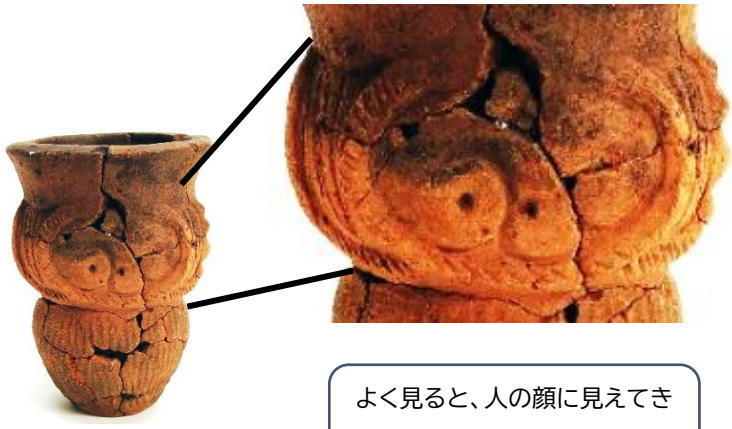
西ノ原遺跡第 181 地点調査区全景
白線で丸く書かれているのがすべて住居跡。

227 号住居跡
中央やや上寄りに見えるものが石囲炉。

西ノ原遺跡の集落が最盛期を迎えていた縄文時代中期の土器は、立体的に装飾を施す特徴を持っています。縄目模様を付けるだけでなく、丸や三角、渦巻き、波線など粘土をいろいろな形にして貼り付けたり、線で描いたり、色を付けたり…。中には人や動物をモチーフにしたと考えられるものもあります。縄文土器には縄文人の創意工夫と豊かな感性があふれています。

西ノ原遺跡第 181 地点から出土した土器

イノシシです。背中の特徴をよく表しています。



よく見ると、人の顔に見えてきませんか？

イベントカレンダー（9月～12月）

＊開催時間等、詳しくは市広報等でご確認ください。
＊天候等の状況によっては、内容を変更しての開催または中止にする場合があります。

9月		
16日(土)～10月22日(日)	最新出土品展「花ひらく縄文芸術・西ノ原遺跡」	上福岡歴史民俗資料館
10月		
1日(日)～	旧大井村役場　一般公開	旧大井村役場
7日(土)	旧造兵廠(火工廠)をあるく、みる、きく	上福岡歴史民俗資料館ほか
14日(土)	福岡河岸記念館　特別公開	福岡河岸記念館
21日(土)	古民家で聞く落語	福岡河岸記念館
22日(日)	郷土の伝承あそび「竹とんぼづくり」	上福岡歴史民俗資料館
11月		
4日(土)	福岡河岸記念館　特別公開	福岡河岸記念館
18日(土)	ホウキモロコシでつくるミニほうき	福岡河岸記念館
19日(日)	研究会「旧軍用地とその転用から見る郊外社会」	ふじみ野市役所
25日(土)・12月17日(日)	郷土の伝承あそび「たこをつくって展示しよう」	上福岡歴史民俗資料館
26日(日)	入間東部地区「文化財めぐり」	富士見市鶴馬地区
12月		
10日(日)	やさしい日本語でめぐるまちさんぽツアー「ほうきをつくって　ぎんなんを食べよう」	福岡中央公園・上福岡歴史民俗資料館

●文化財日誌（令和５年３月～令和５年６月）

３月　７日　資料館・文化財ボランティア会議
３月11日　ほうきづくり友の会定例会
３月14日　駒西小学校文化財展示室作業
３月18日　やさしい日本語まちさんぽガイド定例会
３月19日　旧江戸屋庭園調査
３月20日　文化財保存活用地域計画研修会
３月25日　やさしい日本語まちさんぽガイド講習会
４月30日　地蔵院案内標柱修繕
４月10日　権現山古墳群史跡の森　公開再開
４月11日　資料館・文化財ボランティア会議
４月15日　やさしい日本語まちさんぽガイド定例会
４月18日　駒西小学校文化財展示室作業
４月22日　新河岸川周辺の文化財と地形散策
４月29日　ほうきづくり友の会　ホウキモロコシ種まき
５月　６日　やさしい日本語まちさんぽツアー
５月　９日　資料館・文化財ボランティア会議
５月16日　駒西小学校文化財展示室作業
５月20日　やさしい日本語ガイド定例会・ほうきづくり友の会によるホウキモロコシ種まき
５月31日　埼玉県文化財保護協会　評議員会・研修会
６月　２日　第１回ふじみ野市文化財保護審議会
６月　６日　資料館・文化財ボランティア会議
６月14日　東台小学校３年生ホウキモロコシ種まき体験
６月16日　第２回ふじみ野市文化財保護審議会
６月17日　ほうきづくり友の会・やさしい日本語まちさんぽガイド定例会

5月6日　やさしい日本語まちさんぽツアー「こいのぼりを見ながらお茶をのもう」

市内の文化財・遺跡情報が満載

遺跡情報システム

遺跡情報、指定文化財、石造物、神社仏閣などの場所や情報を検索できます。
▼2023年８月アクセス数2093件（昨年比+1061）

近場で楽しもう！文化財ガイド

市内の文化財、神社仏閣、文化財説明板などを紹介したガイドマップです。